

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ダーク・マター	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ダーク・マター**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

研磨剤

番

**比較対照ボール：オール・イン**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

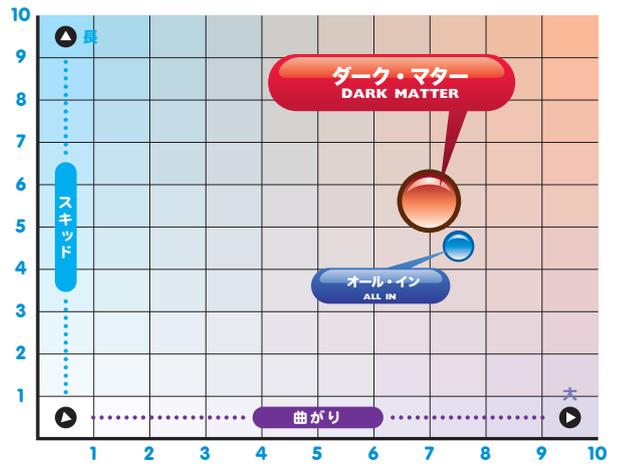
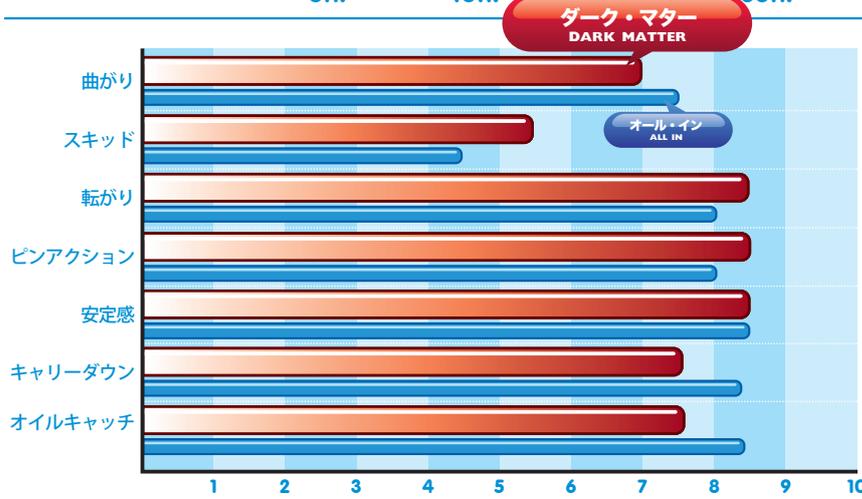
PAPからピンとの距離  インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

900Global社でMediumから下の領域をカバーするシリーズとして、新しくTour Preferred Seriesが作られました。このTour Preferred Seriesは主にS55CoverstockからS60CoverstockのSolid Reactiveで構成されていますが、今回のDARK MATTERはこの領域の中でも一番強いS60 Solid Coverstockを採用しています。Solid Reactiveと聞くと動きがなだらかで丸い動きのイメージがありますが、DARK MATTERのReaction特性はシャープなバックエンドが信条で、積極的にポケットへの入射角を取りにいけるイメージができるでしょう。

実際にこのボールをテストングしてみると、以外にも領域以上のカバーの強さを感じました。Medium以下というよりはフランチャイズのコンディションではほぼメインに使えるほどオイルに対しての弱さを感じません。印象深かったのがバックエンドで立ち上がりからのシャープな動きです。シンプルな作りに思えますが、心臓部にあるDome Coreがこの動きを実現させているのでしょう。これぐらいのメリハリ感が出ていると、S79(REPECT)やS74(DREAM)Coverstock等でかなり良い動きが期待できると想像できます。AsymmetricにはないsymmetricだからできるシンプルなレイアウトとPerformanceの両立ができるのもこのDARK MATTERの良い部分だと思います。

900Global社のPerformance領域は他社にはないMediumからMediumLightのボールが多く取り揃えてあります。現在は一つのボールでコンディションに対峙するのではなく、コンディションにあわせてボールをチョイスする時代になっているものと考えるのであれば、足りない領域を900Global社のボールで埋めるもの必然なのかもしれません。

### 特記事項

**Mediumコンディション以下でバックエンドでシャープなリアクションを実現します。やや遅くなってから攻撃的にラインを攻めるボールとして是非お試しください。**